

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人福島大学

(2) 大学名

福島大学

(3) 大学の位置

〒960-1296
福島県福島市金谷川1番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(ナカイ カツミ) 中井勝己 (平成30年4月)	該当なし	
学部長	(ショウゲンジ シンイチ) 生源寺眞一 (平成31年4月)	該当なし	

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成30年度に報告済の内容 (30)

令和元年度に報告する内容 (元)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」でも記載してください。その場合適宜各項目の表を追加してください。
- ・ 様式は、平成27年度開設の4年制の学科の完成年度を超えて報告する場合(令和元年度までの5年間)ですが、完成年度を超えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
農学群 食農学類 学士(農学)	農学関係	年 4	人 100		人 400	

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		令和元年度				平均入学定員 超過率	開設年度から 報告年度までの 平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期							
A 入学定員	人 100 - [-]	人 -					1.08倍	- 倍	
志願者数	502 (-) [7]	- (-) [-]							
受験者数	316 (-) [6]	- (-) [-]							
合格者数	119 (-) [2]	- (-) [-]							
B 入学者数	108 (-) [1]	- (-) [-]							
入学定員超過率 B / A	1.08								

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度										備 考
	春季入学	その他の学期									
1 年次	108 [1] (-)	- [-] -									
2 年次	/										
3 年次	/		/								
4 年次	/		/		/						
計	108 [1] (-)										

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「 - 」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳		主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)	
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	108 人	0 人	令和元年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数 (a)}}{\text{令和元年度の在学者数 (b)}} = \frac{0}{108} = \boxed{0} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養領域科目	外国語科目	基礎外国語(理工系)(ドイツ語)	1前・後	2								1	
		応用外国語(理工系)(ドイツ語)	2前・後	2								1	
		基礎外国語(理工系)(フランス語)	1前・後	2								1	
		応用外国語(理工系)(フランス語)	2前・後	2								1	
		基礎外国語(理工系)(中国語)	1前・後	2								1	
		応用外国語(理工系)(中国語)	2前・後	2								1	
		基礎外国語(理工系)(ロシア語)	1前・後	2								1	
		応用外国語(理工系)(ロシア語)	2前・後	2								1	
		基礎外国語(理工系)(韓国朝鮮語)	1前・後	2								1	
		応用外国語(理工系)(韓国朝鮮語)	2前・後	2								1	
		日本語 a	1前	1									1
		日本語 b	1前	1									1
		日本語 a	1後	1									1
		日本語 b	1後	1									1
小計(21科目)	-	0	33	0							10		
科情報	情報リテラシー	1前	2								1		
小計(1科目)	-	0	2	0							1		
問題探究領域科目	問題探究科目	問題探究科目	1前	2								1	
		問題探究科目	1前	2								1	
		問題探究科目	1前	2								1	
		問題探究科目	1前	2								1	
		問題探究科目	1前	2								1	
		問題探究科目	1前	2								1	
		問題探究科目	1後	2								1	
		問題探究科目	1後	2								1	
		問題探究科目	1後	2								1	
		震災農村復興論	1後	2		1	1						
		福島のブランド農業	1後	2			2						
		小計(12科目)	-	0	24	0	1	3					10

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
教養領域科目	外国語科目	応用英語	1後	1								1		
		応用英語	1後	1								1		
		応用英語	1後	1								1		
		ドイツ語基礎	1前	1								3		
		ドイツ語基礎	1後	1								2		
		応用外国語(理工系)(ドイツ語)	2前・後	2								1		
		フランス語基礎	1前	1								2		
		フランス語基礎	1後	1								2		
		応用外国語(理工系)(フランス語)	2前・後	2								1		
		中国語基礎	1前	1								3		
		中国語基礎	1後	1								2		
		応用外国語(理工系)(中国語)	2前・後	2								1		
		ロシア語基礎	1前	1								1		
		ロシア語基礎	1後	1								1		
		応用外国語(理工系)(ロシア語)	2前・後	2								1		
		韓国朝鮮語基礎	1前	1								1		
		韓国朝鮮語基礎	1後	1								1		
		応用外国語(理工系)(韓国朝鮮語)	2前・後	2								1		
		ドイツ語基礎(特設)	1前	1								2		
		ドイツ語基礎(特設)	1後	1								2		
		フランス語基礎(特設)	1前	1								1		
		フランス語基礎(特設)	1後	1								1		
		中国語基礎(特設)	1前	1								2		
		中国語基礎(特設)	1後	1								2		
		ロシア語基礎(特設)	1前	1								1		
		ロシア語基礎(特設)	1後	1								1		
		韓国朝鮮語基礎(特設)	1前	1								1		
		韓国朝鮮語基礎(特設)	1後	1								1		
		小計(37科目)	-	0	44	0							23	
		日本語科目	日本語科目	日本語 A	1前	1								1
				日本語 B	1前	1								1
				日本語 A	1後	1								1
				日本語 B	1後	1								1
				日本語 a	2前	1								1
				日本語 b	2前	1								1
				日本語 a	2後	1								1
				日本語 b	2後	1								1
小計(8科目)	-	0	8	0							1			
日本事情	日本事情	日本事情	1前	1								1		
		日本事情	1後	1								1		
小計(2科目)	-	0	2	0							1			
科情報	情報リテラシー	1前・後	2								5			
小計(1科目)	-	0	2	0							5			
問題探究領域科目	問題探究科目	ふくしま未来学入門	1後	2								1		
		災害復興支援学	1後	2								1		
		グローバル災害論	1前	2								1		
		成年年齢引き下げと政策的課題	1前	2								1		
		NPO論	1後	2								1		
		哲学カフェ	1後	2								1		
		再生可能エネルギー	1後	2								1		
		放射線入門	1後	2								3		
		大学で学ぶ	1前	2								1		
		セルフラーニングデザイン論	1後	2								1		
		ボランティア論	1前	2								1		
		大学生のための現代社会	1前	2								1		
		映画の世界・映画と世界	1前	2								1		
		ふくしま未来学入門	1前	2								1		
		評価論入門	1後	2								1		
		アジア共同体構想	1後	2								1		
		むらの大学	1後	2								1		
		震災農村復興論	1後	2		1	1							
		福島のブランド農業	1前	2			2							
小計(19科目)	-	0	38	0	1	3					15			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース専門科目	生産環境学コース	農業機械学	2後	1		1						
		森林保護学	3前	2		1						
		農村計画学	3前	2		1						
		スマート農業論	3前	2		1						
		森林育成学	3前	2		1						
		森林利用学	3前	2		1						
		土壌物理学	3前	2		1						
		生産環境学実験・実習	3前	2		3	2					
		農業リモートセンシング	3前	2		1						
		土壌生態学	3後	2		1						
		土質力学	3後	2		1						
	野生動物管理学	3後	1		1							
	生産環境学実験・実習	3後	2		2	4						
	森林生態学	4前	2								1	
小計(20科目)	-	8	29	0	3	7					1	
農業経営学コース	農業経済学	2後	2		1							
	フードシステム論	2後	2		1							
	農産物流論	2後	2		1							
	農業政策学	2後	2		1							
	社会計画論	2後	2		1						1	
	協同組合学	2後	2		1							
	農林資源経済論	3前	2		1							
	食品マーケティング論	3前	2		1							
	環境経済学	3前	2								1	
	農業経営学演習	3前	4		3	4						
アグリビジネス論	3後	2		1	1							
農業経営学演習	3後	4		3	4							
小計(12科目)	-	8	20	0	4	4					2	
演習類科目通	食農実践演習	2後	2		17	21						
	食農実践演習	3前	4		17	21						
	食農科学英語演習	3前	2		2	1						
	食農実践演習	3後	4		17	21						
小計(4科目)	-	12	0	0	17	21						
卒業研究科目	卒業研究基礎演習	3後	1		17	21						
	卒業研究演習	4前	2		17	21						
	卒業研究演習	4後	2		17	21						
	卒業論文(4)	4後	4		17	21						
小計(4科目)	-	9	0	0	17	21						
合計(158科目)	-	76	232	0	17	21					45	
卒業要件及び履修方法												
(卒業要件)												
基盤教育科目34単位、専門教育科目88単位、自由選択科目2単位、合計124単位												
< 基盤教育科目 >												
(接続領域)												
スタートアップセミナー2単位、キャリア形成論2単位、健康運動科学実習1単位、外国語コミュニケーション科目・英語4単位の合計9単位必修												
(教養領域)												
学術基礎科目:人文科学分野から2単位選択、社会科学分野から2単位選択、自然科学分野から2単位、合計6単位選択												
キャリア設計科目:キャリアモデル学習2単位必修												
外国語科目:4単位選択												
小計12単位												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
コース専門科目	生産環境学コース	農業機械学	2後	1		1						
		森林保護学	3前	2		1						
		農村計画学	3前	2		1						
		スマート農業論	3前	2		1						
		森林育成学	3前	2		1						
		森林利用学	3前	2		1						
		土壌物理学	3前	2		1						
		生産環境学実験・実習	3前	2		3	2					
		農業リモートセンシング	3前	2		1						
		土壌生態学	3後	2		1						
		土質力学	3後	2		1						
	野生動物管理学	3後	1		1							
	生産環境学実験・実習	3後	2		2	4						
	森林生態学	4前	2									1
小計(20科目)	-	8	29	0	3	7					1	
農業経営学コース	農業経済学	2後	2		1							
	フードシステム論	2後	2		1							
	農産物流論	2後	2		1							
	農業政策学	2後	2		1							
	社会計画論	2後	2		1						1	
	協同組合学	2後	2		1							
	農林資源経済論	3前	2		1							
	食品マーケティング論	3前	2		1							
	環境経済学	3前	2								1	
	農業経営学演習	3前	4		3	4						
アグリビジネス論	3後	2		1	1							
農業経営学演習	3後	4		3	4							
小計(12科目)	-	8	20	0	4	4					2	
演習類科目通	食農実践演習	2後	2		17	21						
	食農実践演習	3前	4		17	21						
	食農科学英語演習	3前	2		2	1						
	食農実践演習	3後	4		17	21						
小計(4科目)	-	12	0	0	17	21						
卒業研究科目	卒業研究基礎演習	3後	1		17	21						
	卒業研究演習	4前	2		17	21						
	卒業研究演習	4後	2		17	21						
	卒業論文(4)	4後	4		17	21						
小計(4科目)	-	9	0	0	17	21						
合計(196科目)	-	76	277	0	17	21					83	
卒業要件及び履修方法												
(卒業要件)												
基盤教育科目34単位、専門教育科目88単位、自由選択科目2単位、合計124単位												
< 基盤教育科目 >												
(接続領域)												
スタートアップセミナー2単位、キャリア形成論2単位、健康運動科学実習1単位、外国語コミュニケーション科目・英語4単位の合計9単位必修												
(教養領域)												
学術基礎科目:人文科学分野から2単位選択、社会科学分野から2単位選択、自然科学分野から2単位、合計6単位選択												
キャリア設計科目:キャリアモデル学習2単位必修												
外国語科目:4単位選択												
小計12単位												

(問題探究領域)

問題探究科目から2単位選択、問題探究セミナー(農場基礎実習)2単位必修
小計4単位

(教養領域・問題探究領域)

上記の単位数に加え、教養領域科目、問題探究領域からさらに9単位選択
【食品科学コース】

< 基盤教育科目 > 34単位(必修13単位、選択21単位)

< 専門教育科目 > 88単位(必修43単位、選択45単位)

(学類共通専門基礎科目・数理解テラシー)8単位

・必修4単位

・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位

・必修14単位

「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」
「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林
特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上
14単位選択

(コース専門科目)28単位

・必修4単位(「食品科学実験」「食品科学実験」)

・「食品機能学」「食品加工学」「発酵・醸造学」「食品素材
科学」「生物化学」「有機化学概論」「分析化学概論」「食品機能
学」「食品加工学」「発酵・醸造学」「食品衛生管理学」
「食品保蔵学」「食品分析学」「植物栄養学(農業生産学コース
専門科目)」「栄養機能科学」「農地再生論(農業生産学コース
専門科目)」「フードシステム論(農業経営学コース専門科目)」、
「食品マーケティング論(農業経営学コース専門科目)」から12
科目24単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)

上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目
(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目)12単位(必修)

(卒業研究科目)9単位(必修)

< 自由選択科目 > 2単位

上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、
基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに
2単位選択

【農業生産学コース】

< 基盤教育科目 > 34単位(必修13単位、選択21単位)

< 専門教育科目 > 88単位(必修43単位、選択45単位)

(学類共通専門基礎科目・数理解テラシー)8単位

・必修4単位

・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位

・必修14単位

「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」
「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林
特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上
14単位選択

(コース専門科目)28単位

・必修4単位(「農業生産学実験・実習」
「農業生産学実験・実習」)

・「作物育種学」「稲作学」「野菜・花き園芸学」「果樹園芸学」
「農産物流通論(農業経営学コース専門科目)」「里山管理論
(生産環境学コース専門科目)」「植物病理学」「飼料資源学」
「応用昆虫学」「植物栄養学」「環境保全型農業論」「スマート
農業論(生産環境学コース専門科目)」「農地再生論」「病害
虫管理学」「食品加工学(食品科学コース専門科目)」「土
壌生態学(生産環境学コース専門科目)」から12科目24単
位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)

上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目
(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目)12単位(必修)

(卒業研究科目)9単位(必修)

< 自由選択科目 > 2単位

上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、
基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに
2単位選択

【生産環境学コース】

< 基盤教育科目 > 34単位(必修13単位、選択21単位)

< 専門教育科目 > 88単位(必修47単位、選択41単位)

(学類共通専門基礎科目・数理解テラシー)8単位

・必修4単位

・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(問題探究領域)

問題探究科目から2単位選択、問題探究セミナー(農場基礎実習)2単位必修
小計4単位

(教養領域・問題探究領域)

上記の単位数に加え、教養領域科目、問題探究領域からさらに9単位選択
【食品科学コース】

< 基盤教育科目 > 34単位(必修13単位、選択21単位)

< 専門教育科目 > 88単位(必修43単位、選択45単位)

(学類共通専門基礎科目・数理解テラシー)8単位

・必修4単位

・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位

・必修14単位

「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」
「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林
特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上
14単位選択

(コース専門科目)28単位

・必修4単位(「食品科学実験」「食品科学実験」)

・「食品機能学」「食品加工学」「発酵・醸造学」「食品素材
科学」「生物化学」「有機化学概論」「分析化学概論」「食品機能
学」「食品加工学」「発酵・醸造学」「食品衛生管理学」
「食品保蔵学」「食品分析学」「植物栄養学(農業生産学コース
専門科目)」「栄養機能科学」「農地再生論(農業生産学コース
専門科目)」「フードシステム論(農業経営学コース専門科目)」、
「食品マーケティング論(農業経営学コース専門科目)」から12
科目24単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)

上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目
(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目)12単位(必修)

(卒業研究科目)9単位(必修)

< 自由選択科目 > 2単位

上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、
基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに
2単位選択

【農業生産学コース】

< 基盤教育科目 > 34単位(必修13単位、選択21単位)

< 専門教育科目 > 88単位(必修43単位、選択45単位)

(学類共通専門基礎科目・数理解テラシー)8単位

・必修4単位

・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー)28単位

・必修14単位

「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」
「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林
特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上
14単位選択

(コース専門科目)28単位

・必修4単位(「農業生産学実験・実習」
「農業生産学実験・実習」)

・「作物育種学」「稲作学」「野菜・花き園芸学」「果樹園芸学」
「農産物流通論(農業経営学コース専門科目)」「里山管理論
(生産環境学コース専門科目)」「植物病理学」「飼料資源学」
「応用昆虫学」「植物栄養学」「環境保全型農業論」「スマート
農業論(生産環境学コース専門科目)」「農地再生論」「病害
虫管理学」「食品加工学(食品科学コース専門科目)」「土
壌生態学(生産環境学コース専門科目)」から12科目24単
位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)

上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目
(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目)12単位(必修)

(卒業研究科目)9単位(必修)

< 自由選択科目 > 2単位

上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、
基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに
2単位選択

【生産環境学コース】

< 基盤教育科目 > 34単位(必修13単位、選択21単位)

< 専門教育科目 > 88単位(必修47単位、選択41単位)

(学類共通専門基礎科目・数理解テラシー)8単位

・必修4単位

・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー) 28単位

・必修14単位

「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」
「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林
特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上
14単位選択

(コース専門科目) 28単位

・必修8単位(「測量学」「測量・GIS実習」「生産環境学実験・
実習」 「生産環境学実験・実習」)

・「水資源利用学」「里山管理論」「樹木学」「農業情報論」
1単位「農業機械学」1単位「森林保護学」「農村計画学」
「スマート農業論」「農業リモートセンシング」「森林利用学」
「土壌物理学」「森林育成学」「土質力学」「土壌生態学」
「野生動物管理学」1単位「森林生態学」から10科目
以上20単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)

上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目
(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目) 12単位(必修)

(卒業研究科目) 9単位(必修)

<自由選択科目> 2単位

上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、
基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに
2単位選択

【農業経営学コース】

<基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)

<専門教育科目> 88単位(必修47単位、選択41単位)

(学類共通専門基礎科目・数理リテラシー) 8単位

・必修4単位

・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー) 28単位

・必修14単位

「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」
「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林
特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上
14単位選択

(コース専門科目) 28単位

・必修8単位

(「農業経営学演習」4単位「農業経営学演習」4単位)

「農業経済学」「フードシステム論」「農産物流通論」「農業
政策学」「協同組合法学」「社会計画論」「農林資源経済論」
「食品マーケティング論」「スマート農業論(生産環境学コース
専門科目)」「農村計画学(生産環境学コース専門科目)」、
「環境経済学」「アグリビジネス論」「稲作学(農業生産学コ
ース専門科目)」から10科目以上20単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)

上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目
(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目) 12単位(必修)

(卒業研究科目) 9単位(必修)

<自由選択科目> 2単位

上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、
基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに
2単位選択

【履修科目の登録の上限】 24単位(各学期) 但し、前後期
開講科目については後期履修登録扱いとすることができる。また、
教職科目、集中講義は上限数から除かれる。

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー) 28単位

・必修14単位

「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」
「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林
特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上
14単位選択

(コース専門科目) 28単位

・必修8単位(「測量学」「測量・GIS実習」「生産環境学実験・
実習」 「生産環境学実験・実習」)

・「水資源利用学」「里山管理論」「樹木学」「農業情報論」
1単位「農業機械学」1単位「森林保護学」「農村計画学」
「スマート農業論」「農業リモートセンシング」「森林利用学」
「土壌物理学」「森林育成学」「土質力学」「土壌生態学」
「野生動物管理学」1単位「森林生態学」から10科目
以上20単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)

上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目
(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目) 12単位(必修)

(卒業研究科目) 9単位(必修)

<自由選択科目> 2単位

上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、
基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに
2単位選択

【農業経営学コース】

<基盤教育科目> 34単位(必修13単位、選択21単位)

<専門教育科目> 88単位(必修47単位、選択41単位)

(学類共通専門基礎科目・数理リテラシー) 8単位

・必修4単位

・「生物学」「化学」「物理学」から2科目4単位選択

(学類共通専門基礎科目・農学リテラシー) 28単位

・必修14単位

「基礎微生物学」「栽培学汎論」「食品安全学」「森林科学」
「土壌科学」「農業工学」「畜産学概論」「農業経営学」「森林
特別実習」1単位「畜産学特別実習」1単位から7科目以上
14単位選択

(コース専門科目) 28単位

・必修8単位

(「農業経営学演習」4単位「農業経営学演習」4単位)

「農業経済学」「フードシステム論」「農産物流通論」「農業
政策学」「協同組合法学」「社会計画論」「農林資源経済論」
「食品マーケティング論」「スマート農業論(生産環境学コース
専門科目)」「農村計画学(生産環境学コース専門科目)」、
「環境経済学」「アグリビジネス論」「稲作学(農業生産学コ
ース専門科目)」から10科目以上20単位選択

(学類共通専門基礎科目・専門科目)

上記の単位数に加え、学類共通専門基礎科目・専門科目
(全コース)から3単位選択

(学類共通演習科目) 12単位(必修)

(卒業研究科目) 9単位(必修)

<自由選択科目> 2単位

上記の基盤教育科目、専門教育科目の単位数に加え、
基盤教育科目、専門教育科目、他学類専門科目からさらに
2単位選択

【履修科目の登録の上限】 24単位(各学期) 但し、前後期
開講科目については後期履修登録扱いとすることができる。また、
教職科目、集中講義は上限数から除かれる。

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 本授業科目表は、開設年度から提出年度までの間において実際に実施された授業科目に関する情報として記入してください。
 - ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) - 授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

【基盤教育科目 接続領域科目 関連】

- ・教育の充実の理由により、「健康運動科学実習」の兼任・兼担の配置を、「2」から「3」に変更。
- ・カリキュラム改革により、「英語A」の兼任・兼担の配置を、「4」から「3」に変更。
- ・カリキュラム改革により、「英語A」の兼任・兼担の配置を、「4」から「3」に変更。

【基盤教育科目 教養領域科目 学術基礎科目・人文科学分野 関連】

- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「心理学」から「心理学01」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「言語・文学」から「言語・文学」に変更。
また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、「音楽」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「ヒトとことばの仕組みと進化」から「ことばの仕組み」に変更。
また、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「脳神経と精神保健」から「精神疾患とその治療」に変更。
また、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。
「哲学」(配当年次「1後」、単位数「選択2」)
「心理学 02」(配当年次「1後」、単位数「選択2」)
「心理学」(配当年次「1後」、単位数「選択2」)

【基盤教育科目 教養領域科目 学術基礎科目・社会科学分野 関連】

- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「経済学」から「経済学」に変更。
また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「地理学」から「地理学」に変更。
また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「歴史学」から「歴史学」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本国憲法」から「日本国憲法01」に変更。
- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。
「地域論」(配当年次「1前」、単位数「選択2」)
「日本国憲法02」(配当年次「1後」、単位数「選択2」)
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称「市民と法」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称「農業と人間」の配当年次を「1前」から「1後」に変更。

【基盤教育科目 教養領域科目 学術基礎科目・自然科学分野 関連】

- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「自然と技術」から「環境の科学」に変更。
また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「自然と技術」から「ちからとうごき」に変更。
また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「自然と技術」から「物質の科学01」に変更。
また、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「自然と技術」から「生命の科学」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称「食品の機能」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「医学概論」から「人体の構造と機能及び疾病(医学概論)」に変更。

【基盤教育科目 教養領域科目 外国語科目 関連】

- ・教育の充実の理由により、「応用英語」を以下の授業科目に分割。
「応用英語」(配当年次「1前」、単位数「選択1」)
「応用英語」(配当年次「1前」、単位数「選択1」)
「応用英語」(配当年次「1前」、単位数「選択1」)
「応用英語」(配当年次「1前」、単位数「選択1」)
「応用英語」(配当年次「1前」、単位数「選択1」)
「応用英語」(配当年次「1後」、単位数「選択1」)
「応用英語」(配当年次「1後」、単位数「選択1」)
「応用英語」(配当年次「1後」、単位数「選択1」)
「応用英語」(配当年次「1後」、単位数「選択1」)
「応用英語」(配当年次「1後」、単位数「選択1」)
「応用英語」(配当年次「1後」、単位数「選択1」)
「応用英語」(配当年次「1後」、単位数「選択1」)
- ・カリキュラム改革により、「基礎外国語(理工系)(ドイツ語)」を以下の授業科目に分割。
「ドイツ語基礎」(配当年次「1前」、単位数「選択1」)
「ドイツ語基礎」(配当年次「1後」、単位数「選択1」)
- ・カリキュラム改革により、「基礎外国語(理工系)(フランス語)」を以下の授業科目に分割。
「フランス語基礎」(配当年次「1前」、単位数「選択1」)
「フランス語基礎」(配当年次「1後」、単位数「選択1」)
- ・カリキュラム改革により、「基礎外国語(理工系)(中国語)」を以下の授業科目に分割。
「中国語基礎」(配当年次「1前」、単位数「選択1」)
「中国語基礎」(配当年次「1後」、単位数「選択1」)
- ・カリキュラム改革により、「基礎外国語(理工系)(ロシア語)」を以下の授業科目に分割。
「ロシア語基礎」(配当年次「1前」、単位数「選択1」)
「ロシア語基礎」(配当年次「1後」、単位数「選択1」)
- ・カリキュラム改革により、「基礎外国語(理工系)(韓国朝鮮語)」を以下の授業科目に分割。
「韓国朝鮮語基礎」(配当年次「1前」、単位数「選択1」)
「韓国朝鮮語基礎」(配当年次「1後」、単位数「選択1」)

- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。
 - 「ドイツ語基礎（特設）」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
 - 「ドイツ語基礎（特設）」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
 - 「フランス語基礎（特設）」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
 - 「フランス語基礎（特設）」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
 - 「中国語基礎（特設）」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
 - 「中国語基礎（特設）」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
 - 「ロシア語基礎（特設）」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
 - 「ロシア語基礎（特設）」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）
 - 「韓国朝鮮語基礎（特設）」（配当年次「1前」、単位数「選択1」）
 - 「韓国朝鮮語基礎（特設）」（配当年次「1後」、単位数「選択1」）

【基盤教育科目 教養領域科目 日本語科目 関連】

- ・教育内容の充実の理由より、教養領域科目中の日本語関連の科目区分として「日本語科目」を追加。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本語 a」から「日本語 A」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本語 b」から「日本語 B」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本語 a」から「日本語 A」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「日本語 b」から「日本語 B」に変更。

【基盤教育科目 教養領域科目 日本事情 関連】

- ・教育の充実の理由により、教養領域科目中の科目区分として「日本事情」を追加。
- ・教育の充実の理由により、「日本事情」を追加。
- ・教育の充実の理由により、「日本事情」を追加。

【基盤教育科目 問題探求領域科目 問題探求科目 関連】

- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目」から「ふくしま未来学入門」に変更。また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目」から「災害復興支援学」に変更。また、配当年次を「1前」から「1後」へ変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目」から「グローバル災害論」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目」から「成年年齢引き下げと政策的課題」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目」から「NPO論」に変更。また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目」から「哲学カフェ」に変更。また、配当年次を「1前」から「1後」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目」から「再生可能エネルギー」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目」から「放射線入門」に変更。また、「兼任・兼担」の配置を「1」から「3」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目」から「大学で学ぶ」に変更。また、配当年次を「1後」から「1前」に変更。
- ・カリキュラム改革により、授業科目の名称を「問題探求科目」から「セルフラーニングデザイン論」に変更。
- ・教育の充実の理由により、以下の授業科目を追加。
 - 「ボランティア論」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
 - 「大学生のための現代社会」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
 - 「映画の世界・映画と世界」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
 - 「ふくしま未来学入門」（配当年次「1前」、単位数「選択2」）
 - 「評価論入門」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）
 - 「アジア共同体構想」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）
 - 「むらの大学」（配当年次「1後」、単位数「選択2」）
- ・カリキュラム改革により、「福島ブランド農業」の配当年次を「1後」から「1前」に変更。

- (注) ・ 2(1)ー 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（平成29年度開設であれば平成28年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
34 科目	124 科目	0 科目	158 科目	34 科目	162 科目	0 科目	196 科目	
				[]	[38]	[]	[38]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合： -1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	ジェンダー学入門	2	1前	一般	選択	隔年開講のため
2	政治学	2	1後	一般	選択	隔年開講のため

- (注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無

- (注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

他に選択できる科目が多く準備されているので、前後期で1科目ずつ隔年開講科目が設定されていても学生に不利益は生じない。また、学生には時間割表にて周知している。

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{2}{158} = \boxed{1.26} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	その他の内、 借地19,187㎡ を含む 借用期間：20年			
	校舎敷地	170,811㎡	0㎡	0㎡	170,811㎡				
	運動場用地	81,940㎡	0㎡	0㎡	81,940㎡				
	小 計	252,751㎡	0㎡	0㎡	252,751㎡				
	そ の 他	199,330㎡	0㎡	0㎡	199,330㎡				
	合 計	452,081㎡	0㎡	0㎡	452,081㎡				
(2) 校 舎		専 用 75,89976,106㎡ (71,493㎡)	共 用 0㎡ (0㎡)	共用する他の 学校等の専用 0㎡ (0㎡)	計 75,89976,106㎡ (71,493㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 (補助職員 80人)(補助職員 40人)		
	3534室		5962室	9995室	79室	40室			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	農学群			38 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕		視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	専攻単位での特定不能 なため、大学全体の数	
		冊	種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕					
	農学群	946,000 950,000 (236,740-237,140) (934,000 944,203 (235,540-235,782))	14,140-13,714 (3,432-2,773) (14,080 13,694 (3,426 2,765))	9,000(9,000) 9,000 9,132 (9,000 9,132)	4,540 4,525 (4,390 4,365)	0 (0)	0 (0)		
	計	946,000 950,000 (236,740-237,140) (934,000 944,203 (235,540-235,782))	14,140-13,714 (3,432-2,773) (14,080 13,694 (3,426 2,765))	9,000(9,000) 9,000 9,132 (9,000 9,132)	4,540 4,525 (4,390 4,365)	0 (0)	0 (0)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	10,084㎡		664席		1,113,194冊				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						大学全体
	3,778㎡		陸上競技場、野球場、サッカー・ラグビー場、テニスコート、バレーボールコート、弓道場、ハンドボール場、水泳プール、馬術場						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	-	-	図書購入費	-	-	-	
	共同研究費等	-	-	設備購入費	-	-	-	-	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		千円	千円	千円	千円	千円	千円		
学生納付金以外の維持方法の概要									

(注)・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和元年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(元)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	福島大学									備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	定員変更年度 (AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	年度	年度	年度	
人文社会学群	4	685	3年次 30	3,040		1.03	令和元年度	平成17年度	-	
人間発達文化学類	4	260	3年次 10	1,090	学士 (発達文化)	1.03	令和元年度	平成17年度	福島県福島市金谷川1番地	定員変更(30)
行政政策学類	4	205	3年次 10	855	学士 (法学) (社会学)	1.03	令和元年度	平成17年度	同上	定員変更(25)
経済経営学類	4	220	3年次 10	915	学士 (経済学)	1.02	令和元年度	平成17年度	同上	定員変更(25)
夜間主コース	4	-	3年次 若干名	180	学士 (発達文化) (法学) (社会学) (経済学)	1.05		平成17年度	同上	令和元年学生募集停止(編入・ 学士入学(定員 若干名)を除く。)
理工学群	4	160	-	700					-	
共生システム 理工学類	4	160	-	700	学士 (理工学)	1.05	令和元年度	平成17年度	福島県福島市金谷川1番地	定員変更(20)
農学群	4	100	-	100					-	
食農学類	4	100	-	100	学士 (農学)	1.08	令和元年度	令和元年度	福島県福島市金谷川1番地	定員変更(元)
大学全体	4	945	30	3,840	-	1.03	-	-	-	
大学院										
人間発達文化研究科									-	
教職実践専攻	2	16	-	32	教職 修士 (専門職)	0.84		平成29年度	福島県福島市金谷川1番地	
地域文化創造専攻	2	17	-	34	修士 (地域文化)	0.87		平成21年度	同上	
学校臨床心理専攻	2	7	-	14	修士 (教育学)	1.21		平成21年度	同上	
地域政策科学研究科									-	
地域政策科学専攻	2	20	-	40	修士 (地域政策)	0.57		平成5年度	福島県福島市金谷川1番地	
経済学研究科									-	
経済学専攻	2	10	-	20	修士 (経済学)	0.55		昭和51年度	福島県福島市金谷川1番地	
経営学専攻	2	12	-	24	修士 (経済学)	0.37		昭和61年度	同上	

共生システム 理工学研究科									-
共生システム 理工学専攻	2	53	-	106	修士 (理工学)	0.72	令和元年度	平成20年度	福島県福島市金谷川1番地
環境放射能学 専攻	2	7	-	14	修士 (理工学)	1.14	令和元年度	令和元年度	同上
共生システム 理工学専攻	3	6	-	16	博士 (理工学)	0.5		平成20年度	同上

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校種ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科及び別科を除く)。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「平均入学定員超過率」の考え方は「大学設置等に係る提出書類の作成の手引き(平成31年度改訂版)」と同じです。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

< 農学群 食農学類 >

(1) 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和元年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 保有学位等>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 保有学位等>
専	教授	松田 幹 <平成32年4月>	専	教授	松田 幹 <平成32年4月>
		食品科学概論 世界の食料と農業 食品機能学 生物化学 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			食品科学概論 世界の食料と農業 食品機能学 生物化学 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	松田 幹 <平成31年4月>	兼任	講師	松田 幹 <平成31年4月>
		食品科学概論			食品科学概論
専	教授	平 修 <平成31年4月>	専	教授	平 修 <平成31年4月>
		スタートアップセミナー 化学 食品科学概論 食農実践演習 食品機能学 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			スタートアップセミナー 化学 食品科学概論 食農実践演習 食品機能学 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	教授	金内 誠 <平成32年4月>	専	教授	金内 誠 <平成32年4月>
		食品科学概論 キャリアモデル学習 発酵・醸造学 食農実践演習 インターンシップ 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			食品科学概論 キャリアモデル学習 発酵・醸造学 食農実践演習 インターンシップ 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	金内 誠 <平成31年4月>	兼任	講師	金内 誠 <平成31年4月>
		食品科学概論			食品科学概論
専	教授	藤井 力 <平成31年4月>	専	教授	藤井 力 <平成31年4月>
		食品科学概論 基礎微生物学 食農実践演習 発酵・醸造学 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			食品科学概論 基礎微生物学 食農実践演習 発酵・醸造学 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	教授	西村 順子 <平成31年4月>	専	教授	西村 順子 <平成31年4月>
		食品科学概論 食品安全学 世界の食料と農業 食農実践演習 食品衛生管理学 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			食品科学概論 食品安全学 世界の食料と農業 食農実践演習 食品衛生管理学 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	熊谷 武久 <平成31年4月>	専	教授	熊谷 武久 <平成31年4月>
		食品科学概論 食品の機能 食農実践演習 食品加工学 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			食品科学概論 食品の機能 食農実践演習 食品加工学 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	教授	新田 洋司 <平成31年4月>	専	教授	新田 洋司 <平成31年4月>
		スタートアップセミナー 農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 栽培学汎論 世界の食料と農業 稲作学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			スタートアップセミナー 農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 栽培学汎論 世界の食料と農業 稲作学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	教授	篠田 徹郎 <平成31年4月>	専	教授	篠田 徹郎 <平成31年4月>
		農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 食農実践演習 インターネット 応用昆虫学 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農業生産学実験・実習 病害虫管理学 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 食農実践演習 インターネット 応用昆虫学 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農業生産学実験・実習 病害虫管理学 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	教授	大瀬(鈴木) 健嗣 <平成31年4月>	専	教授	大瀬(鈴木) 健嗣 <平成31年4月>
		農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 土壌科学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農地再生論 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 土壌科学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農地再生論 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	教授	石川 尚人 <平成31年4月>	専	教授	石川 尚人 <平成31年4月>
		農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 畜産学概論 世界の食料と農業 食農実践演習 飼料資源学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 畜産学概論 世界の食料と農業 食農実践演習 飼料資源学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	教授	金子 信博 <平成31年4月>	専	教授	金子 信博 <平成31年4月>
		スタートアップセミナー 生産環境科学概論 森林科学 森林特別実習 世界の食料と農業 食農実践演習 食農科学英語演習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 土壌生態学 生産環境学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			スタートアップセミナー 生産環境科学概論 森林科学 森林特別実習 世界の食料と農業 食農実践演習 食農科学英語演習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 土壌生態学 生産環境学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	神宮字 寛 <平成32年4月>	専	教授	神宮字 寛 <平成32年4月>
		生産環境科学概論 農業工学 世界の食料と農業 食農実践演習 農村計画学 食農科学英語演習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文			生産環境科学概論 農業工学 世界の食料と農業 食農実践演習 農村計画学 食農科学英語演習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	神宮字 寛 <平成31年4月>	兼任	講師	神宮字 寛 <平成31年4月>
		生産環境科学概論			生産環境科学概論
専	教授	原田 茂樹 <平成32年4月>	専	教授	原田 茂樹 <平成32年4月>
		生産環境科学概論 農業工学 世界の食料と農業 食農実践演習 土壌物理学実験・実習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 土質力学 生産環境学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文			生産環境科学概論 農業工学 世界の食料と農業 食農実践演習 土壌物理学 生産環境学実験・実習 食農実践演習 土質力学 生産環境学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	原田 茂樹 <平成31年4月>	兼任	講師	原田 茂樹 <平成31年4月>
		生産環境科学概論			生産環境科学概論
専	教授	荒井 聡 <平成31年4月>	専	教授	荒井 聡 <平成31年4月>
		農業経営概論 キャリアモデル学習 世界の食料と農業 農業経営学 食農実践演習 インターンシップ 農業経営学演習 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文			農業経営概論 キャリアモデル学習 世界の食料と農業 農業経営学 食農実践演習 インターンシップ 農業経営学演習 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文
専	教授	河野 恵伸 <平成32年4月>	専	教授	河野 恵伸 <平成32年4月>
		農業経営概論 世界の食料と農業 食農実践演習 食品マーケティング論 農業経営学演習 食農実践演習 アグリビジネス論 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文			農業経営概論 世界の食料と農業 食農実践演習 食品マーケティング論 農業経営学演習 食農実践演習 アグリビジネス論 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	河野 恵伸 <平成31年4月>	兼任	講師	河野 恵伸 <平成31年4月>
		農業経営概論			農業経営概論
専	教授	小山 良太 <平成31年4月>	専	教授	小山 良太 <平成31年4月>
		キャリア形成論 農業経営概論 震災農村復興論 食農実践演習 協同組合学 農業経営学演習 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文			キャリア形成論 農業経営概論 震災農村復興論 食農実践演習 協同組合学 農業経営学演習 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	生源寺 眞一 <平成31年4月>
		農業と人間 農業経営概論 世界の食料と農業 農業政策学 食農実践演習 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	石川 大太郎 <平成31年4月>
		食品科学概論 分析化学概論 食農実践演習 食品分析学 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	尾形 慎 <平成32年4月>
		スタートアップセミナー 食品科学概論 食品素材科学 有機化学概論 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	尾形 慎 <平成31年4月>
		スタートアップセミナー 食品科学概論
専	准教授	吉永 和明 <平成31年4月>
		食品科学概論 食農情報処理演習 食品加工学 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	升本 早枝子 <平成31年4月>
		食と健康 食品科学概論 食農実践演習 食品保蔵学 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	高橋 秀和 <平成31年4月>
		生物学 農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 作物育種学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	生源寺 眞一 <平成31年4月>
		農業と人間 農業経営概論 世界の食料と農業 農業政策学 食農実践演習 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	石川 大太郎 <平成31年4月>
		食品科学概論 分析化学概論 食農実践演習 食品分析学 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	尾形 慎 <平成32年4月>
		スタートアップセミナー 食品科学概論 食品素材科学 有機化学概論 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	尾形 慎 <平成31年4月>
		スタートアップセミナー 食品科学概論
専	准教授	吉永 和明 <平成31年4月>
		食品科学概論 食農情報処理演習 食品加工学 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	升本 早枝子 <平成31年4月>
		食と健康 食品科学概論 食農実践演習 食品保蔵学 食品科学実験 食農実践演習 食品科学実験 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	高橋 秀和 <平成31年4月>
		生物学 農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 作物育種学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡邊 芳倫 <平成31年4月>
		農業生産学概論 農場基礎実習 栽培学汎論 農場基礎実習 世界の食料と農業 食農実践演習 農業生産学実験・実習 農業生産学実験・実習 環境保全型農業論 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	深山 陽子 <平成31年4月>
		生物学 農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 蔬菜・花き園芸学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	高田 大輔 <平成31年4月>
		スタートアップセミナー 農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 果樹園芸学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	岡野 夕香里 <平成32年4月>
		農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 世界の食料と農業 食農実践演習 植物病理学 農業生産学実験・実習 食農実践演習 病害虫管理学 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	岡野 夕香里 <平成31年4月>
専	准教授	二瓶 直登 <平成32年4月>
		農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 キャリアモデル学習 食農情報処理演習 食農実践演習 植物栄養学 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	二瓶 直登 <平成31年4月>
専	准教授	渡邊 芳倫 <平成31年4月>
		農業生産学概論 農場基礎実習 栽培学汎論 農場基礎実習 世界の食料と農業 食農実践演習 農業生産学実験・実習 農業生産学実験・実習 環境保全型農業論 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	深山 陽子 <平成31年4月>
		生物学 農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 蔬菜・花き園芸学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	高田 大輔 <平成31年4月>
		スタートアップセミナー 農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 果樹園芸学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	岡野 夕香里 <平成32年4月>
		農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 世界の食料と農業 食農実践演習 植物病理学 農業生産学実験・実習 食農実践演習 病害虫管理学 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	岡野 夕香里 <平成31年4月>
専	准教授	二瓶 直登 <平成32年4月>
		農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 キャリアモデル学習 食農情報処理演習 食農実践演習 植物栄養学 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	二瓶 直登 <平成31年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	渡邊 芳倫 <平成31年4月>
		農業生産学概論 農場基礎実習 栽培学汎論 農場基礎実習 世界の食料と農業 食農実践演習 農業生産学実験・実習 農業生産学実験・実習 環境保全型農業論 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	深山 陽子 <平成31年4月>
		生物学 農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 蔬菜・花き園芸学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	高田 大輔 <平成31年4月>
		スタートアップセミナー 農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 果樹園芸学 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	岡野 夕香里 <平成32年4月>
		農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 世界の食料と農業 食農実践演習 植物病理学 農業生産学実験・実習 食農実践演習 病害虫管理学 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	岡野 夕香里 <平成31年4月>
専	准教授	二瓶 直登 <平成32年4月>
		農業生産学概論 農場基礎実習 農場基礎実習 キャリアモデル学習 食農情報処理演習 食農実践演習 植物栄養学 農業生産学実験・実習 食農実践演習 農業生産学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	二瓶 直登 <平成31年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	市川 費大 <平成32年4月>
		生産環境科学概論 キャリアモデル学習 樹木学 食農実践演習 インターンシップ 森林育成学 生産環境学実験・実習 食農実践演習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	市川 費大 <平成31年4月>
		生産環境科学概論
専	准教授	望月 翔太 <平成31年4月>
		基礎数学 生産環境科学概論 測量学 測量・GIS実習 食農実践演習 森林保護学 食農実践演習 野生動物管理学 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	藤野 正也 <平成32年4月>
		生産環境科学概論 食農情報処理演習 測量・GIS実習 食農実践演習 食農科学英語演習 森林利用学 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	藤野 正也 <平成31年4月>
		生産環境科学概論
専	准教授	石井 秀樹 <平成31年4月>
		基礎数学 震災農村復興論 生産環境科学概論 食農情報処理演習 世界の食料と農業 里山管理論 食農実践演習 食農実践演習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	申 文浩 <平成31年4月>
		物理学 生産環境科学概論 農業工学 世界の食料と農業 測量・GIS実習 水資源利用学 食農実践演習 食農実践演習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	市川 費大 <平成32年4月>
		生産環境科学概論 キャリアモデル学習 樹木学 食農実践演習 インターンシップ 森林育成学 生産環境学実験・実習 食農実践演習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	市川 費大 <平成31年4月>
		生産環境科学概論
専	准教授	望月 翔太 <平成31年4月>
		基礎数学 生産環境科学概論 測量学 測量・GIS実習 食農実践演習 森林保護学 食農実践演習 野生動物管理学 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	藤野 正也 <平成32年4月>
		生産環境科学概論 食農情報処理演習 測量・GIS実習 食農実践演習 食農科学英語演習 森林利用学 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	藤野 正也 <平成31年4月>
		生産環境科学概論
専	准教授	石井 秀樹 <平成31年4月>
		基礎数学 震災農村復興論 生産環境科学概論 食農情報処理演習 世界の食料と農業 里山管理論 食農実践演習 食農実践演習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	申 文浩 <平成31年4月>
		物理学 生産環境科学概論 農業工学 世界の食料と農業 測量・GIS実習 水資源利用学 食農実践演習 食農実践演習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業論文

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	牧 雅康 <平成31年4月>	専	准教授	牧 雅康 <平成31年4月>
		生産環境科学概論 農業工学 世界の食料と農業 測量学 測量・GIS実習 農業情報論 食農実践演習 農業リモートセンシング 食農実践演習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			生産環境科学概論 農業工学 世界の食料と農業 測量学 測量・GIS実習 農業情報論 食農実践演習 農業リモートセンシング 食農実践演習 生産環境学実験・実習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	窪田 陽介 <平成31年4月>	専	准教授	窪田 陽介 <平成31年4月>
		スタートアップセミナー 物理学 生産環境科学概論 農業工学 農業機械学 食農実践演習 スマート農業論 生産環境学実験・実習 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			スタートアップセミナー 物理学 生産環境科学概論 農業工学 農業機械学 食農実践演習 スマート農業論 生産環境学実験・実習 食農実践演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	宮井 浩志 <平成32年4月>	専	准教授	原田 英美 <平成31年4月>
		農業経営概論 食農情報処理演習 農産物流通論 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 アグリビジネス論 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			農業経営概論 食農情報処理演習 農産物流通論 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 アグリビジネス論 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
兼任	講師	宮井 浩志 <平成31年4月>			
		農業経営概論			
専	准教授	則藤 孝志 <平成31年4月>	専	准教授	則藤 孝志 <平成31年4月>
		スタートアップセミナー 福島のブランド農業 農業経営概論 フードシステム論 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			スタートアップセミナー 福島のブランド農業 農業経営概論 フードシステム論 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	高山 太輔 <平成31年4月>	専	准教授	高山 太輔 <平成31年4月>
		統計学 農業経営概論 食農情報処理演習 農業経済学 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			統計学 農業経営概論 食農情報処理演習 農業経済学 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文
専	准教授	林 薫平 <平成31年4月>	専	准教授	林 薫平 <平成31年4月>
		スタートアップセミナー 福島のブランド農業 農業経営概論 食農実践演習 農林資源経済論 農業経営学演習 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文			スタートアップセミナー 福島のブランド農業 農業経営概論 食農実践演習 農林資源経済論 農業経営学演習 食農実践演習 農業経営学演習 食農実践演習 卒業研究基礎演習 卒業研究演習 卒業研究演習 卒業論文

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小川 宏 <平成31年4月>
		健康運動科学実習 スポーツ実習
兼任	教授	安田 俊広 <平成31年4月>
		健康運動科学実習 スポーツ実習
兼任	教授	松浦 浩子 <平成31年4月>
		英語 A 英語 A 英語 B 英語 B
兼任	教授	村上 雄一 <平成31年4月>
		英語 A 英語 A 英語 B 英語 B
兼任	教授	福富 靖之 <平成31年4月>
		英語 A 英語 A ヒトのことばの仕組みと進化 【隔年】 英語 B 英語 B 応用英語

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小川 宏 <平成31年4月>
		健康運動科学実習
兼任	特任教授	工藤 孝義 <平成31年4月>
		スポーツ実習
兼任	准教授	杉浦 弘一 <平成31年4月>
		健康運動科学実習
兼任	特任教授	鈴木 裕美子 <平成31年4月>
		健康運動科学実習 スポーツ実習
兼任	教授	松浦 浩子 <平成31年4月>
		英語 B 英語 B 応用英語 応用英語
兼任	講師	ロナルド・ブレンド・スコット <平成31年4月>
		英語 A 英語 A
兼任	教授	村上 雄一 <平成31年4月>
		英語 B 英語 B
兼任	講師	長谷川 明子 <平成31年4月>
		英語 A フランス語基礎 フランス語基礎 フランス語基礎(特設)
兼任	講師	安藤 勝夫 <平成31年4月>
		英語 A
兼任	教授	福富 靖之 <平成31年4月>
		ことばの仕組み 【隔年】 英語 B 英語 B 応用英語 応用英語
兼任	准教授	飯嶋 良太 <平成31年4月>
		英語 A
兼任	教授	マッカーズランド・フィリップ <平成31年4月>
		応用英語 応用英語
兼任	教授	佐々木 俊彦 <平成31年4月>
		応用英語 応用英語
兼任	教授	吉高神 明 <平成31年4月>
		応用英語 応用英語

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小野原 雅夫 <平成31年4月>
		倫理学 問題探究科目
兼任	教授	高谷(藤岡)理恵子 <平成31年4月>
		心理学
兼任	教授	井實 充史 <平成31年4月>
		言語・文学
兼任	教授	杉田 政夫 <平成31年4月>
		音楽【隔年】
兼任	教授	末吉 健治 <平成31年4月>
		地理学【隔年】
兼任	教授	加藤 眞義 <平成31年4月>
		社会論
兼任	教授	高橋 準 <平成31年4月>
		ジェンダー学入門【隔年】
兼任	教授	菊地 芳朗 <平成31年4月>
		歴史学【隔年】
兼任	教授	塩谷 弘康 <平成31年4月>
		問題探究科目 市民と法

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	小野原 雅夫 <平成31年4月>
		哲学カフェ
兼任	教授	樋口 良之 <平成31年4月>
		倫理学
兼任	教授	飛田 操 <平成31年4月>
		心理学 01
兼任	教授	木暮 照正 <平成31年4月>
		心理学 02
兼任	教授	原野 明子 <平成31年4月>
		心理学
兼任	准教授	高橋 由貴 <平成31年4月>
		言語・文学
兼任	教授	杉田 政夫 <平成31年4月>
		音楽【隔年】
兼任	講師	嶺岸 佑亮 <平成31年4月>
		哲学
兼任	教授	末吉 健治 <平成31年4月>
		地理学【隔年】
兼任	教授	西崎 伸子 <平成31年4月>
		社会論
兼任	教授	高橋 準 <平成31年4月>
		ジェンダー学入門【隔年】
兼任	教授	菊地 芳朗 <平成31年4月>
		災害復興支援学
兼任	教授	功刀 俊洋 <平成31年4月>
		歴史学【隔年】
兼任	教授	福島 雄一 <平成31年4月>
		市民と法
兼任	准教授	藤原 暹 <平成31年4月>
		地域論

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	神長 裕明 <平成31年4月>
		自然と技術
兼任	教授	岡沼 信一 <平成31年4月>
		自然と技術
兼任	教授	柴崎 直明 <平成31年4月>
		自然と技術
兼任	教授	小室 安宏 <平成31年4月>
		医学概論
兼任	教授	田村 奈保子 <平成31年4月>
		基礎外国語(理工系)(フランス語) 応用外国語(理工系)(フランス語)
兼任	教授	手代木 有児 <平成31年4月>
		基礎外国語(理工系)(中国語) 応用外国語(理工系)(中国語)
兼任	教授	吉川 宏人 <平成31年4月>
		基礎外国語(理工系)(ロシア語) 応用外国語(理工系)(ロシア語)
兼任	調師	カザンツェワ・ラーダ <平成31年4月>
		ロシア語基礎
兼任	准教授	クズネツォワ・マリーナ <平成31年4月>
		ロシア語基礎 ロシア語基礎(特設)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	神長 裕明 <平成31年4月>
		情報リテラシー
兼任	教授	川越 清樹 <平成31年4月>
		環境の科学
兼任	教授	岡沼 信一 <平成31年4月>
		ちからとごき
兼任	教授	黒沢 高秀 <平成31年4月>
		生命の科学
兼任	教授	小室 安宏 <平成31年4月>
		人体の構造と機能及び疾病 (医学概論)
兼任	教授	田村 奈保子 <平成31年4月>
		フランス語基礎(特設) 応用外国語(理工系)(フランス語)
兼任	調師	平手 伸昭 <平成31年4月>
		フランス語基礎 フランス語基礎
兼任	教授	手代木 有児 <平成31年4月>
		中国語基礎 中国語基礎 中国語基礎(特設) 中国語基礎(特設) 応用外国語(理工系)(中国語)
兼任	調師	井上 浩一 <平成31年4月>
		中国語基礎 中国語基礎
兼任	調師	池澤 寛芳 <平成31年4月>
		中国語基礎
兼任	准教授	金 敬雄 <平成31年4月>
		中国語基礎(特設) 中国語基礎(特設)
兼任	教授	吉川 宏人 <平成31年4月>
		ロシア語基礎(特設) 応用外国語(理工系)(ロシア語)
兼任	調師	カザンツェワ・ラーダ <平成31年4月>
		ロシア語基礎
兼任	准教授	クズネツォワ・マリーナ <平成31年4月>
		ロシア語基礎 ロシア語基礎(特設)

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	井本 亮 <平成31年4月>
		日本語 a 日本語 b 日本語 a 日本語 b 日本語 a 日本語 b 日本語 a 日本語 b
兼任	教授	本田 修啓 <平成31年4月>
		情報リテラシー
兼任	教授	三浦 浩喜 <平成31年4月>
		問題探究科目
兼任	教授	佐野 孝治 <平成31年4月>
		問題探究科目
兼任	教授	岩崎 由美子 <平成31年4月>
		問題探究科目 社会計画論
兼任	教授	牧田 実 <平成31年4月>
		問題探究科目
兼任	教授	佐藤 理夫 <平成31年4月>
		問題探究科目
兼任	教授	千葉 養伍 <平成31年4月>
		栄養機能科学
兼任	教授	木村 勝彦 <平成31年4月>
		森林生態学

専任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	井本 亮 <平成31年4月>
		日本語 A 日本語 B 日本語 A 日本語 B 日本語 a 日本語 b 日本語 a 日本語 b
兼任	講師	永島 恭子 <平成31年4月> 修士(日本語教育)
		日本事情 日本事情
兼任	教授	本田 修啓 <平成31年4月>
		情報リテラシー
兼任	准教授	内海 哲史 <平成31年4月>
		情報リテラシー
兼任	講師	木谷 徳智 <平成31年4月>
		情報リテラシー
兼任	講師	中山 祐貴 <平成31年4月>
		情報リテラシー
兼任	特任准教授	前川 直哉 <平成31年4月>
		ふくしま未来学入門 ふくしま未来学入門 むらの大学
兼任	教授	佐野 孝治 <平成31年4月>
		グローバル災害論
兼任	教授	岩崎 由美子 <平成31年4月>
		社会計画論
兼任	准教授	中里 真 <平成31年4月>
		成年年齢引き下げと政策的課題
兼任	教授	牧田 実 <平成31年4月>
		NPO論
兼任	教授	佐藤 理夫 <平成31年4月>
		再生可能エネルギー
兼任	教授	千葉 養伍 <平成31年4月>
		栄養機能科学
兼任	教授	木村 勝彦 <平成31年4月>
		森林生態学

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高田 英和 <平成31年4月>
		英語A 英語A 英語B 英語B
兼任	准教授	加藤 奈保子 <平成31年4月>
		美術【隔年】
兼任	准教授	坂本 篤史 <平成31年4月>
		教育と文化【隔年】
兼任	准教授	片山 規央 <平成31年4月>
		脳神経と精神保健
兼任	准教授	荒 知宏 <平成31年4月>
		経済学
兼任	准教授	黒崎 輝 <平成31年4月>
		政治学【隔年】
兼任	准教授	阪本 尚文 <平成31年4月>
		日本国憲法
兼任	准教授	高安 徹 <平成31年4月>
		自然と技術
兼任	准教授	高橋 優 <平成31年4月>
		基礎外国語(理工系)(ドイツ語) 応用外国語(理工系)(ドイツ語)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	高田 英和 <平成31年4月>
		英語A 英語A 英語B 英語B
兼任	准教授	加藤 奈保子 <平成31年4月>
		美術【隔年】
兼任	准教授	坂本 篤史 <平成31年4月>
		教育と文化【隔年】
兼任	准教授	片山 規央 <平成31年4月>
		精神疾患とその治療
兼任	准教授	荒 知宏 <平成31年4月>
		経済学
兼任	准教授	黒崎 輝 <平成31年4月>
		政治学【隔年】
兼任	准教授	阪本 尚文 <平成31年4月>
		日本国憲法02
兼任	講師	二瓶 由美子 <平成31年4月>
		日本国憲法01
兼任	准教授	高安 徹 <平成31年4月>
		物質の科学01
兼任	准教授	高橋 優 <平成31年4月>
		ドイツ語基礎(特設) ドイツ語基礎(特設) 応用外国語(理工系)(ドイツ語)
兼任	教授	グンスケフォンケルン・マルティーナ <平成31年4月>
		ドイツ語基礎 ドイツ語基礎(特設)
兼任	講師	グンスケフォンケルン・マルクス <平成31年4月>
		ドイツ語基礎
兼任	講師	神子 博昭 <平成31年4月>
		ドイツ語基礎 ドイツ語基礎(特設)
兼任	講師	齋藤 真 <平成31年4月>
		ドイツ語基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 保有学位等>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月 保有学位等>
		担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	オーバーボイマー・ユルゲン <平成31年4月> ドイツ語基礎
兼任	准教授	伊藤 俊介 <平成31年4月> 基礎外国語(理工系)(韓国朝鮮語) 応用外国語(理工系)(韓国朝鮮語)	兼任	准教授	伊藤 俊介 <平成31年4月> 韓国朝鮮語基礎 韓国朝鮮語基礎 韓国朝鮮語基礎(特設) 韓国朝鮮語基礎(特設) 応用外国語(理工系)(韓国朝鮮語)
兼任	准教授	高貝 慶隆 <平成31年4月> 問題探究科目	兼任	准教授	高貝 慶隆 <平成31年4月> 放射線入門
			兼任	教授	山口 克彦 <平成31年4月> 放射線入門
			兼任	准教授	兼子 伸吾 <平成31年4月> 放射線入門
兼任	准教授	高森 智嗣 <平成31年4月> 問題探究科目	兼任	准教授	高森 智嗣 <平成31年4月> 大学で学ぶ 評価論入門
兼任	准教授	鈴木(足立)学 <平成31年4月> 問題探究科目	兼任	准教授	鈴木(足立)学 <平成31年4月> 大学生のための現代社会 セルフラーニングデザイン 論
			兼任	教授	初澤 敏生 <平成31年4月> ボランティア論
			兼任	教授	久我 和巳 <平成31年4月> 映画の世界・映画と世界
			兼任	准教授	朱 永浩 <平成31年4月> アジア共同体構想
兼任	准教授	沼田 大輔 <平成31年4月> 環境経済学	兼任	准教授	沼田 大輔 <平成31年4月> 環境経済学
兼任	講師	長尾 慶和 <平成31年4月> 畜産学特別実習	兼任	講師	長尾 慶和 <平成31年4月> 畜産学特別実習

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 「認可時又は届出時」には、設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
- ・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。
- ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(研)、実(研)、実(研)、実(研)、実(研)、実(研)、実(研))、兼任、兼任の順に記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) - 担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

【専任教員 関連】

・宮井 浩志 准教授就任辞退により、原田 英美 准教授に変更。平成31年2月教員審査済み。

【兼任・兼任教員 関連】

- ・小川 宏 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 工藤 孝幾 特任教授の追加。
- ・平成31年4月 安田 俊広 教授を 杉浦 弘一 准教授に変更。担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 鈴木 裕美子 特任教授の追加。
- ・松浦 浩子 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 ロナルド・ブレンド・スコット 講師の追加。
- ・村上 雄一 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 長谷川 明子 講師の追加。
- ・平成31年4月 安藤 勝夫 講師の追加。
- ・福富 靖之 教授の担当授業科目名の変更。担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 飯嶋 良太 准教授の追加。
- ・平成31年4月 マッカーズランド・フィリップ 教授の追加。
- ・平成31年4月 佐々木 俊彦 教授の追加。
- ・平成31年4月 吉高神 明 教授の追加。
- ・小野原 雅夫 教授の担当授業科目名の変更及び担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 樋口 良之 教授の追加。
- ・平成31年4月 高谷(藤岡) 理恵子 教授を 飛田 操 教授に変更。担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 木暮 照正 教授の追加。
- ・平成31年4月 原野 明子 教授の追加。
- ・平成31年4月 井實 充史 教授を 高橋 由貴 准教授に変更。担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 嶺岸 佑亮 講師の追加。
- ・末吉 健治 教授の担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 加藤 眞義 教授を 西崎 伸子 教授に変更。
- ・菊地 芳朗 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 功刀 俊洋 教授の追加。
- ・平成31年4月 塩谷 弘康 教授を 福島 雄一 教授に変更。
- ・平成31年4月 藤原 遼 准教授の追加。
- ・神長 裕明 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 川越 清樹 教授の追加。
- ・岡沼 信一 教授の担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 柴崎 直明 教授を 黒沢 高秀 教授に変更。担当授業科目名の変更。
- ・小室 安宏 教授の担当授業科目名の変更。
- ・田村 奈保子 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 平手 伸昭 講師の追加。
- ・手代木 有兒 教授の担当授業科目名及び担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 井上 浩一 講師の追加。
- ・平成31年4月 池澤 實芳 講師の追加。
- ・平成31年4月 金 敬雄 准教授の追加。
- ・吉川 宏人 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 カザンツェフ・ラーダ 講師の追加。
- ・平成31年4月 クズネツォーフ・マリナ 准教授の追加。
- ・井本 亮 教授の担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 永島 恭子 講師の追加。
- ・平成31年4月 内海 哲史 准教授の追加。
- ・平成31年4月 木谷 徳智 講師の追加。
- ・平成31年4月 中山 祐貴 講師の追加。
- ・平成31年4月 三浦 浩喜 教授を 前川 直哉 特任准教授に変更。担当授業科目名及び担当授業科目の変更。
- ・佐野 孝治 教授の担当授業科目名の変更。
- ・岩崎 由美子 教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 中里 真 准教授の追加。
- ・牧田 実 教授の担当授業科目名の変更。
- ・佐藤 理夫 教授の担当授業科目名の変更。
- ・片山 規央 准教授の担当授業科目名の変更。
- ・荒 知宏 准教授の担当授業科目名の変更。
- ・阪本 尚文 准教授の担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 二瓶 由美子 講師の追加。
- ・高安 徹 准教授の担当授業科目名の変更。
- ・高橋 優 准教授の担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 グンスケフォンケルン・マルティーナ 教授の追加。
- ・平成31年4月 グンスケフォンケルン・マルクス 講師の追加。
- ・平成31年4月 神子 博明 講師の追加。
- ・平成31年4月 齋藤 寛 講師の追加。
- ・平成31年4月 オーバーボイマー・ユルゲン 講師の追加。
- ・伊藤 俊介 准教授の担当授業科目名及び担当授業科目の変更。
- ・高貝 慶隆 准教授の担当授業科目名の変更。
- ・平成31年4月 山口 克彦 教授の追加。
- ・平成31年4月 兼子 伸吾 准教授の追加。
- ・高森 智嗣 准教授の担当授業科目名及び担当授業科目の変更。
- ・鈴木(足立) 学 准教授の担当授業科目名及び担当授業科目の変更。
- ・平成31年4月 初澤 敏生 教授の追加。
- ・平成31年4月 久我 和巳 教授の追加。
- ・平成31年4月 朱 永浩 准教授の追加。

(注) ・ 変更内容を簡潔書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。

- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
- ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「年 月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度(平成29年度開設であれば平成28年度)の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
14	7
名	名

(注)・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一イにより算出される専任教員数を記入してください。

(2) - 専任教員数【大学】

設置時の計画					現在(報告時)の状況				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
17	21	0	0	38	12	16	0	0	28
(12)	(15)	(0)	(0)	(27)					
現在(報告時)の完成年度時の状況					現在(報告時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(C)	教授	准教授	講師	助教	計(D)
17	21	0	0	38	17	21	0	0	38
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合： 1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合： 1)

(2) - 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記(C))の教員 うち、定年を延長し て採用する教員数
65	1	2
歳	名	名

(注)・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 []内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合： 1)

(2) - 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{38}{38} = \boxed{100} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{1}{28} = \boxed{3.57} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - 専任教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退(未就任)の理由			
1	准教授	宮井 浩志	H30.9	必修	農業経営概論		H30.9疾病のため就任辞退(30)			
				必修	食農情報処理演習					
				選択	農産物流通論					
				必修	食農実践演習					
				必修	農業経営学演習					
				必修	食農実践演習					
				選択	アグリビジネス論					
				必修	農業経営学演習					
				必修	食農実践演習					
				必修	卒業研究基礎演習					
				必修	卒業研究演習					
				必修	卒業研究演習					
				必修	卒業論文					
合計(D)					後任補充状況の集計(E)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			の合計数(a)	の合計数(b)	の合計数(c)			
1	人	必修	11	科目	必修	11	科目	必修	0	科目
		選択	2	科目	選択	2	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	13	科目	計	13	科目	計	0	科目

- (注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する(している)場合は「 」
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「 」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「 」 「 」以外の場合は「 」

(3) - 専任教員辞任の理由及び後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
合計(F)					後任補充状況の集計(G)					
辞任した教員数		担当科目数の合計(a)+(b)+(c)			の合計数(a)	の合計数(b)	の合計数(c)			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する(している)場合は「 」
 ・兼任兼担教員が担当する(している)場合は「 」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「 」 「 」以外の場合は「 」

(3) - 上記(3) - (3) - の合計

合計(D)+(F)			後任補充状況の集計(E)+(G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		の合計数(a)		の合計数(b)		の合計数(c)	
1 人	必修	11 科目	必修	11 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	2 科目	選択	2 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	13 科目	計	13 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - \text{合計(D)+(F)}}{(2) - \text{設置時の計画(A)}} = \frac{1}{38} = \boxed{2.63} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況 該当なし

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由		
合計			後任補充状況の集計					
辞任した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		の合計数(a)		の合計数(b)		の合計数(c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(注)・ 定年により退職した全ての専任教員についてに記入してください。

- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。
- ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する(している)場合は「 」
- ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「 」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「 」 「 」 以外の場合は「 」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

開設時まで、速やかに後任補充を行ったため、学生の履修上の影響は無かった。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能なかぎり具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等 該当なし

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
認 可 時 (平成30年)	該当なし		

- (注)・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を**全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」には、調査結果が公表された年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

< 農学群 食農学類 >

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>○一般入試後期日程個別学力検査等の配点</p> <p>センター試験 小計900</p> <p>個別学力検査等</p> <p>数学(300) 外国語(300) 面接 100 小計400</p> <p>総計1300</p> <p>○私費外国人留学生の対象者と選抜方法</p> <p>受験教科・科目は、日本語、理科(物理・化学・生物から2科目選択)、<u>数学とする。出題言語は日本語と英語のいずれも選択できる。</u></p>	<p>○一般入試後期日程個別学力検査等の配点</p> <p>センター試験 小計900</p> <p>個別学力検査等</p> <p>数学(200) 外国語(200) 面接 100 小計300</p> <p>総計1200</p> <p>・後期日程では、平成33年度入試見直し予告に基づき進みつつあった学内議論を踏まえ、基礎的な知識・技能を計ったうえで、個別学力検査等において学力の3要素(文部科学省高大接続改革PT定義)のうち、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を重視し、個別学力検査等における面接の配点割合を高めた。</p> <p>○私費外国人留学生の対象者と選抜方法</p> <p>受験教科・科目は、日本語、理科(物理、化学、生物から2科目選択)、<u>数学(コース2)</u>です。出題言語は日本語に限ります。</p> <p>・数学(コース2)の記載について・・・コース1、2の指定の記載がなかった。農学群は数学を高度に必要とする学部であることからコース2を指定し記載した。</p> <p>・日本語に限るについて・・・入学後すぐに必修科目として受講する農場実習で、安全指導(農作業時における危機回避等の指導)や学生間でのコミュニケーションにおいて日本語能力が必要である。そのようなことから日本語に限定した。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策(FD・SD活動含む)

<p>実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>本学では、恒常的なFD活動を実施するため、これまで、教育・学生担当副学長を長とする全学委員会である教育企画委員会を設置し、全学FDを企画・実施してきた。平成31年度より、農学群食農学類設置を含む組織再編に伴い設置された教育推進機構高等教育企画室において全学FDの企画・立案を行い、その実施を全学教務協議会が担う体制に移行する。</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>平成30年度、教育企画委員会は、教育・学生担当副学長、共通教育委員、教務協議会委員、各学類教員、総合教育研究センター高等教育開発部門長、教務課長を委員とし、通常、月1回の頻度で開催した。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>1)教育推進機構高等教育企画室</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高等教育政策及び実践の分析に関すること。 ・ファカルティ・ディベロップメントの取組に関すること。 ・機関調査及び学生調査に関すること。

- ・その他企画室の目的を達成するために必要な業務。

2) 全学教務協議会

- ・全学の教務管理に関すること。
- ・全学の内部質保証の実施に関すること。
- ・全学の非常勤講師計画に関すること。
- ・単位互換の実施に関すること。
- ・学類教育と基盤教育との調整に関すること。
- ・シラバス及びナンバリングに関すること。
- ・学務情報統合システムに関すること。
- ・その他必要と認められる事項。

実施状況

a 実施内容

農学群食農学類は平成31年4月設置であり、今後、全学FDの実施体制を基本としてその取組を進めていく。平成30年度においては、全学的に次のような取組を行った。

- ・教育改善のための学生アンケート（前期）
- ・教育改善のための学生アンケート（後期）
- ・全学FD研究会

b 実施方法

- ・平成30年度の教育改善のための学生アンケートは、前期分を7月、後期分を1月に、教務情報システムを使用し、WEBアンケートにより実施した。
- ・平成30年度の全学FD研究会は、全教員を対象として講演会の開催および分科会形式による議論を行った。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・平成30年度の全学FD研究会は、10月25日（木）約200名の教員が参加し開催された。午前中に講演会（講師：文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室室長および本学教育・学生担当副学長）を開催し、午後はコースなど一定のまとまりに別れ、分科会形式での議論を行った。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・教育改善のための学生アンケートの集計結果は科目担当者に提供され、授業改善の取組に利用される。
- ・平成31年度より、シラバスに「授業改善・工夫」欄を新設し、学生に対し授業改善の取組状況を簡便かつ効果的に発信できるよう工夫した。
- ・全学FD研究会は、教員が一堂に会し、講演や分科会を通して課題や改善策を共有する契機となった。今後も引き続き、各種FD活動を通じて授業改善への取組を進めていく。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

本学では、各 Semester 終盤に「教育改善のための学生アンケート」を実施してきた。平成30年度は前期分を7月、後期分を1月に実施した。平成31年度においても引き続き実施する予定である。

b 教員や学生への公開状況、方法等

本学では、毎年度作成する「福島大学FD活動報告書」にアンケートの集計結果を掲載しホームページ上で公開してきた。平成31年度においても引き続き実施する予定である。

(注) ・「 a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「 実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 教育課程連携協議会に関する事項 該当なし

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

福島県農業会議から本学学長への陳情書（平成25年12月）、福島県議会議長から内閣総理大臣等あての要望書（平成26年11月）、福島市と福島市農業振興審議会連名による本学学長あての要望（平成26年11月）等を受け、平成31年4月、農学群食農学類は、震災からの復興、21世紀の食料・農林業・地域の諸課題の解決に貢献できる人材の養成、および関連する分野の研究を目的として、全国有数の農業県である福島県にあって、初の学士課程の農学系教育組織として設置された。

第1期生を迎えるにあたり、早速、以下の取り組みを行った。

1) 入学者の確保

パンフレット、ホームページ等の媒体を活用した広報に加え、教員による高校訪問等を積極的に行い、募集人員100名に対し、502名の志願者があり108名の入学者を得た。

2) スタートアップセミナーの体制整備

入学直後のセメスターにおける必修科目として、基礎的なアカデミック・スキルの獲得に加え、図書館ガイダンス、メンタルヘルス・オリエンテーション等についても授業の内容に含め、25名規模4クラスの編成とし、各クラス2名の担当教員を決定した。

3) 学外オリエンテーションの実施

新入生ガイダンスに引き続き、一泊二日の学外オリエンテーションを実施した。食農学類に関するオリエンテーションに止まらず、先進的な農場の視察、震災・原発事故に関する経験を聞くなど、スタートアップセミナーの調査課題につなげる学習の機会とした。

4) 保証人への成績送付

修学状況の共有や情報提供を目的として、1・2・3年次終了時において、保証人（保護者等）への成績送付を行うことを決定した。

a 公表（予定）時期

- ・ 直近の自己点検・評価報告書は 平成25年3月 公表
- ・ 新たな自己点検・評価報告書は 令和元年度（2019年度） 公表予定

b 公表方法

- ・ 直近の自己点検・評価報告書は大学ホームページで公開（平成25年3月）
<https://www.fukushima-u.ac.jp/university/public-matters/evaluation/self.html>
- ・ 新たな自己点検・評価報告書は大学ホームページ上に公開予定（令和元年度（2019年度）に公表予定）

認証評価を受ける計画

- ・ 令和3年度（2021年度）に評価機関（大学改革支援・学位授与機構）の認証評価を受ける予定

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

設置計画履行状況報告書（令和元年度）

a ホームページへの公表予定の有無 (有 無)

b 公表有の場合の公表（予定）時期 (令和元年 6月 末日（予定）)

(注) ・ 今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。